

会山行 No.2374

奥多摩：海沢

| | |
|-------|---------------|
| ◆日程 | 2022年8月14日(日) |
| ◆メンバー | L：MD、OM、OD、KB |
| ◆天候 | 曇り後晴 |

台風8号通過翌日の山行である。豪雨による沢の増水の懸念もあり、前日まで実施には悩んだが、まずは現地に行って検討することにした。

奥多摩駅に集合し、予約していたタクシーで海沢まで行く。途中の車窓から見る沢は、水量も多くなく、いつも通りのさわやかな沢に見えた。下流部の入渓地点に到着し、沢の様子を確認するもやはり平常通りである。我々は来て正解であった。迷いもなく皆の意見が一致し沢に入る。

入渓間もなく、いきなり全身浸かる。OMさんとODさんは、お揃いのウェットスーツを着こみ快適そうだ。この沢では必需品なのかもしれない。そして、流れに逆らいながら泳ぎ、岩にへばりつきながら沢を越えていく。時折、流れに負けて流され振り出しに戻る。いつもの沢登りとは違い、積極的に水に浸かるのである。いや、浸かってこそ海沢である。実に面白い！



下流部で泳ぎを満喫した後は、上流部での海沢三滝が舞台となる。

「三つ釜滝」では、釜が三つあり深さもあって飛び込みやウォータースライダーが楽しめる。

「ネジレノ滝」では、落差のある滝のウォータースライダー、「大滝」では、ミストをたっぷりと浴びながら、雄大な滝を見ることが出来る。全てが自然のアトラクションである。沢登りというよりは、沢遊びであろうか、毎年企画したい真夏限定の楽しめる沢である。

この沢、奥多摩のキャニオニングとしても有名な場所であるため、ツアー業者が多数出入りしている。彼らの邪魔をしないように、コソコソと遊び方を盗み見し、彼らが立ち去った後で真似をして遊ぶのである。

(記：MD)